

ほけんだより

令和 6 年 7 月 16 日

No.⑥

落合第二中学校

保健室 発行



定期健康診断が終わりました！！

提出物等、ご協力ありがとうございました。本日、健診結果を配付します。

健康管理にご活用ください。

「定期健康診断の結果のお知らせ」が届いた皆さん
(歯科は全員に渡しているの、受診が必要と記載のあった皆さん)
は、専門医を受診し、結果を学校までお知らせください。

また、今回の検診結果から「小児生活習慣病予防健診」受診をご希望の方は
お早めに学校までご相談ください。

(健診の詳細は、以前お配りした小児生活習慣病予防健診のお知らせをご確認ください)



表1 身体計測平均値(4月)

	男子		女子	
	身長(cm)	体重(kg)	身長(cm)	体重(kg)
1年	151.3	44.9	153.9	44.7
2年	162.0	49.3	155.3	47.1
3年	166.5	54.9	157.3	48.5

成長には個人差があります。気になることがありましたら、保健室までお問い合わせください。

手足口病が都内で流行しています 夏季に流行する小児の感染症にご注意ください

手足口病、ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱は、主に夏に流行する感染症です。近年では、RSウイルス感染症も春から初夏に継続した増加がみられ、夏にピークがみられています。特に手足口病については、都の警報基準を超え、大きな流行となっています。乳幼児が罹患するイメージが強い手足口病ですが、大人も感染する可能性があります。

これらの感染症は、出席停止となり、登校には「登校許可書」が必要です。落二中のホームページからダウンロードできます。

	手足口病	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱	RSウイルス感染症
主な症状	・口の中、手のひら、足の裏などに、発疹や水疱ができます。あまり高い熱はでません。 ・重症化はまれですが、合併症として急性脳炎や心筋炎があります。	・突然の高熱で発症し、口の中の奥の方に水疱や潰瘍ができます。	・発熱、咽頭炎(のどの腫れ)、結膜炎(目の充血)などの症状があらわれます。	・発熱、咳、鼻水、咽頭痛、頭痛、倦怠感など、かぜに似た症状です。 ・肺炎を起こすなど重症化することもあります。
感染経路	・患者の咳やくしゃみに含まれるウイルスを吸い込むことによる、飛沫感染 ・水疱の内容物や便の中のウイルスが手を介して口や眼などの粘膜に入ることによる経口及び接触感染			
治療	・つらい症状を和らげる対症療法が中心です。 ・咽頭結膜熱は、眼の症状が強い場合は、眼科での治療を行います。 ・ワクチンや特効薬はありません。			
予防のポイント	・こまめな手洗いを習慣づけましょう(手洗いは多くの感染症に共通する重要な予防策です)。 ・咳エチケットを心がけましょう。 ・症状が治まった後も、便の中にはウイルスが含まれます。トイレの後や食事の前には手洗いを心がけましょう。			

東京都の感染症流行状況は、東京都感染症情報センターのホームページをご覧ください。

